

箕輪町 農業委員会だより

若者 **NOW**

野菜栽培で箕輪に貢献

大田市出身で脱サラして農業をしようと、3年ほど前から行動をおこし県内の果樹・野菜栽培地域を見て回り、野菜栽培をやろうと決意しました。それから農地探しをしていたところ、役場の方や地域の方に相談したときに、農地の候補や内容について丁寧に説明して下さり、妻の実家である箕輪町にひかれ決めたとのこと。2年間の里親制度を利用して長岡の農家で研修をさせてもらい、本年より経営開始しました。現在はアスパラガスのビニールハウス6棟とトウモロコシやブロッコリーの栽培をしていますが、今後はアスパラガスと長ネギ栽培の2本立てでやっていこうと将来設計を語っていました。

きんばら こういち
金原 幸一さん
(43)



アスパラガスのハウス6棟



今年植えたアスパラガス



昨年植えたアスパラガスが
収穫を待っています

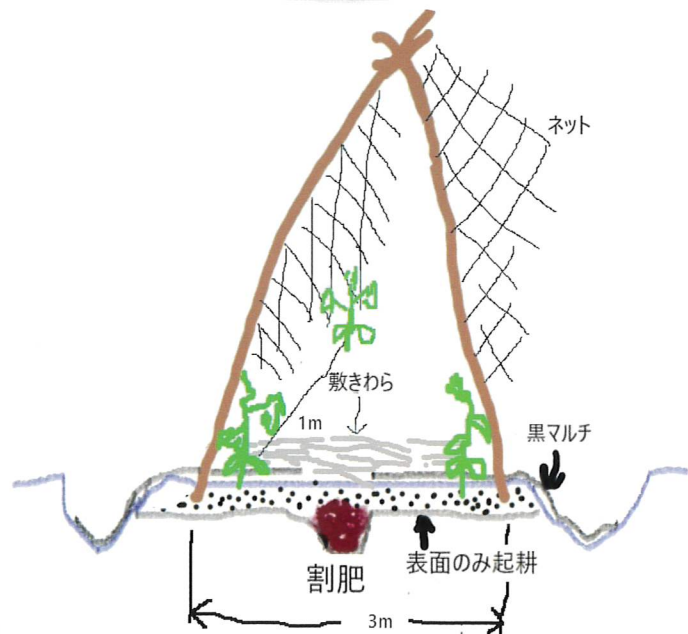


目から うろこ編

その六

「キュウリの栽培方法」

唐澤 金実さん（沢）



キュウリは低温と高温を嫌います。販売している苗のほとんどは接ぎ木苗で初期生育は良いのですが、スタミナが無いのと美味しくないのが欠点です。できれば近頃はやりのブルームレス（白い粉が無く光沢がある）では無く、イボの多いものがパリパリして味も良いと思います。よってキュウリは種から育てるのが良く、7.5cmポットに腐葉土+畑の土を1：1で混ぜた培土に2粒蒔きします。キュウリは15度以下の低温では発芽しにくいので、5月初旬蒔きとします。

圃場はほぼどんな地質でも育ちますが、できれば水はけの良い砂地系のところが良く、深耕はせず表面のみ8cm程度起耕します。元肥は左右のイボ竹中央に深さ15cmの溝を掘り、3m当たり鶏糞：3kg、魚かす：2kg、小糠：2kg、牡蠣殻石灰：2握りを施肥し、土と軽く混和し覆土します。魚かすは速効性、鶏糞・小糠は遅効性で長効きします。根元に肥料が多いとウドンコ病が発生し急に勢いを失います。追肥はしません。前作に秋野菜を作った場所では減肥します。定植は定植部分の左右幅30cmを良く踏み固め土壌の空気を抜き、移植ごとでポットが入るだけの穴を掘り、軽く灌水後、定植し根元を踏み固め、根元が乾燥しないように藁やヨモギ、ススキなどで根元を厚く覆います。

藁などがたくさん無い場合は90cm幅の黒マルチをベタがけして外側のみ10cm溝を掘り、裾を土に埋めます。内側は埋めずに敷き藁かヨモギを乗せて舞い上がらないようにします。

株間は1m取ります。また5月はツルが絡まないで子ツルが出てきたら早めに誘引してネットに結びます。8節までは脇芽、雌花をすべて摘んで樹勢を付け、1m程度になったら下葉は30cm程度まで掻いて、根元の風通しを良くします。また、3日間日照りが続くようなら株間に夕方灌水します。8節以降に出た小ツルを4本伸ばし、孫ツルは3節で摘芯します。

地上1mを超したあたりから雌花を受粉させて、1本18cm程度で収穫します。長く樹に成らせておくと樹勢が落ちるので、取れる時は朝夕収穫をします。

ウドンコ病が出たり、樹勢が落ちてきたら、穀物酢と焼酎の1：1を400倍に薄めて、2日置きに葉面散布すると止まります。

富玉会 ---- 玉ネギの植え付けから収穫までを追う！

6月18日富田区住民の有志でつくる「富玉会」（会員10名、準会員6名）が区内の遊休農地16aで玉ネギの収穫イベントを開催しました。町の地域総合活性化事業を活用し、昨年10月16日に地域の園児や小学生・PTA・役員が苗の定植を行いました。取材した日は午前と午後の部に分かれ収穫体験を楽しみました。土から抜き取った玉ネギは2kg入りのネットに詰め込み、お菓子と一緒に持ち帰りました。例年は収穫した玉ネギはカレーやカルパッチョに調理し交流会を行っていますが、コロナ禍で中止が続いています。来年こそはと希望に目を輝かせていました。

このほか収穫された玉ネギは、地元の保育園や小学校へ寄贈しました。また、区の行事での活用や町内の学校給食にも提供しています。

向山勝一会長は「この事業も本年で13年目。今は補助金を活用し実施しているが、将来は自立を目指したい」と抱負を述べていました。



向山会長



定植作業令和3年10月16日



茎と根を切りネットに入れます



大きいものは1kgもありました



学校給食用はJAの保冷庫に収納します

人・農地に関連する諸法令の改正法案が国会で可決・成立しました

本年5月20日、人・農地に関連する諸法令（農地法、農業経営基盤強化促進法、農地中間管理機構法、農山漁村活性化法、農業委員会法、農業協同組合法などのそれぞれ一部）の改正法案が国会で可決・成立しました（施行は来年4月1日）。

そのなかで農業委員会活動に大きく関係するのは、人・農地プラン（地域農業将来計画）作成の法定化です。

箕輪町にはすでに、10年余に渡り多くの関係者が努力を続けて一昨年に実質化を果たした人・農地プランがあるわけですが、今回の改正では、これまでの努力目標が格上げされ法令となりました。つまり「やってください」から「やりなさい」と具体的に指示されたこととなります。

指示のポイントは、従来から力を入れている農地の分散策圏解消と担い手への集積・集約の具体性・実効性を担保するため、農地利用の将来の姿を明瞭に地図化することです。紙面の関係で詳しいことは省かせていただきますが、これは「目標地図」と称され、これからの農業委員会および人・農地プランの活動でも重要なキーワードになるでしょう。

日本の農業は山積する問題でかつてない厳しい経営環境にさらされていますが、深刻な問題のひとつに後継者・新規就農者の不足が上げられます。今回の改正法が、特に若い世代の新規就農意欲向上の一助になればよいのですが...。なることを信じて、農業委員会では目標地図の素案作成に急ぎ取り掛かっています。

町民の皆さま、農家の皆さまには、これまで以上に農業に対するご理解・ご協力を切にお願いする次第でございます。よろしくお願い申し上げます。

農業委員長 鈴木健二

事務局より

農地パトロールを8月22日から実施しました。荒廃農地で改善を指摘された方は、地区担当農業委員と相談の上解消対策をお願いします。

9月15日に農地相談会を行います。ご希望の方は役場事務局までお問い合わせください。



箕輪町農業委員会の各地区担当委員（任期：2024年3月まで）

唐澤 金実	沢上北部1組 79-5668	唐澤 俊秀	中原2組 79-5783	藤森 英雄	木下南城 79-4596	井口 雅文	福与卯の木 79-3801
大槻 憲治	沢15組 79-6116	春日 初(会長代理)	松島西小路 79-4370	小松 孝寿	木下南原 79-5219	金澤 博(農政部長)	長岡大門 79-5428
藤田 久一	大出4組 79-5525	唐澤 健二	松島春日町 79-6467	櫻井 克成	木下一の宮2 70-8536	上田 千志	南小河内北部 79-5711
関 幹子(農政部長)	八乙女1組 79-3894	小野健一朗	松島南町3 79-0530	赤沼 好秋	富田2組 79-5861	鈴木 健二(会長)	北小河内中村 70-6212
小林 正俊	下古田1組 79-3312	倉田 孝子	木下上一東 79-5172	唐澤 由寛	中曽根1組 79-5010		
唐澤 稔	上古田3組 79-4027	原 美鈴	木下南部 79-3138	藤澤 昭二	三日町上棚 79-4959		

JA上伊那北部営農センター
農事組合法人みのわ営農 → 79-0636

地区営農組合（5地区）：連絡先は上記の農業委員会の各地区担当委員におたずねください

北部（沢/大出/八乙女/下古田）、中部（上古田/中原/松島）、南部（木下/富田/中曽根）、箕輪（三日町/福与）、東箕輪（長岡/南・北小河内）

箕輪町農業委員会だより 第12号 発行 2022年9月1日
農業委員会事務局（役場みどりの戦略課内）0265-79-3170

編集後記：先日、新聞で食料価格が1%増で1000万人が貧困に陥るとの記事を読みました。改めてウクライナ侵攻が世界中に影響を与えていると痛感しました。食べられるのが当たり前ではなく、感謝の気持ちでいただきたいものです。「生産者に感謝」「料理・調理人に感謝」「自分の力で食べられることに感謝」心がけたいものです。（孝寿）